

(国研)土研寒技第44号
令和4年12月26日

各位

国立研究開発法人 土木研究所
寒地土木研究所長 竹内 正信



「技術者交流フォーラム事業(第41回) in 小樽
【インフラの既存ストック活用と観光】」の開催について(案内)

当研究所における研究開発の推進につきましては、日頃から特段の御高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当研究所ではこの度、地域において求められる技術開発や北海道総合開発計画に資する技術開発等に関する情報交換、産官学の技術者交流及び連携等を図ることを目的として、「技術者交流フォーラム事業(第41回) in 小樽【インフラの既存ストック活用と観光】」を国土交通省北海道開発局小樽開発建設部、公益社団法人日本技術士会北海道本部と共同で開催します。

つきましては、時節柄、ご多忙のこととは存じますが、ご出席方、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 開催日時 令和5年1月25日(水) 13:30~17:00(開場12:50)
- 2 開催場所 小樽市民センター マリンホール
(小樽市色内2丁目13番5号)
- 3 その他 入場は無料で、事前予約制(定員200名様)です。
新型コロナウイルス感染症の感染予防及び拡散防止の対策を講じたうえで開催します。寒地土木研究所ホームページよりお申し込みください。



<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

〈連絡先〉

寒地技術推進室 日向 正典

電話 011-590-4046

FAX 011-590-4048

(参考)

令和4年度 「技術者交流フォーラム事業 (第41回) in小樽」 開催概要

目的 : 地域において求められる技術開発に関する情報交換、産学官の技術者交流及び連携を図る。

企画概要 : 後志地域は、管内に小樽やニセコをはじめ多くの観光拠点を有しており、観光が主要な産業の1つとなっている。また、小樽では早くから鉄道、港、道路などインフラの整備が行われてきており、小樽運河に見られるように重要な観光資源となった事例もある。このため、最近の取組を紹介し、インフラのストック活用と観光振興に向けた議論を深める機会とするべく開催する。

テーマ : インフラの既存ストック活用と観光

開催時期 : 1月25日(水)

開催箇所 : 小樽市民センターマリホール

定員 : 200名

特別講演 : (講演55分 + 質疑応答 5分)
「小樽・後志における文化観光の可能性
～歴史文化と地域資源を活かした広域観光～」
小樽商科大学グローバル戦略推進センター研究支援部門地域経済研究部客員研究員
博士(歴史民俗資料学)
地域レジリエンス株式会社 代表取締役 高野 宏康

一般講演 : (講演 各25分+質疑応答 各5分)

1. 「小樽港ふ頭再開発によるクルーズ振興」
小樽開発建設部 次長 斉藤 敦志

2. 「観光の定義と実態、そして今後の展開」
公益社団法人日本技術士会北海道本部社会活動委員会リージョナルステート研究委員会
武山 泰典

3. 「道の駅」を地域振興につなげるために必要なこと」
寒地土木研究所 地域景観チーム 主任研究員 岩田 圭佑

時間配分	13:30開会	開会挨拶 (小樽開発建設部長)	13:30~13:35
		特別講演 (質疑応答含む)	13:35~14:35
		技術者の交流 (展示・休憩)	14:35~15:15
		講演 1 (質疑応答含む)	15:15~15:45
		講演 2 (質疑応答含む)	15:45~16:15
		休憩	16:15~16:25
		講演 3 (質疑応答含む)	16:25~16:55
		閉会挨拶 (寒地土木研究所長)	16:55~17:00

パネル展 : 講演会場に隣接するロビーでパネル展示を行う

主催 : 国土交通省 北海道開発局 小樽開発建設部
国立研究開発法人 土木研究所 寒地土木研究所
公益社団法人 日本技術士会 北海道本部

後援 : 国立大学法人 北海道国立大学機構 小樽商科大学
小樽建設協会
小樽測量設計協会
小樽市